

令和元年度茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会 11月定例会議事録

- 1 日 時 令和元年11月13日(水)午後1時30分～午後3時00分
- 2 場 所 市役所本庁舎4階 会議室1
- 3 出席者 後藤会長、細田副会長、植松副会長、和田会計、弓達監事、矢野監事
関野保、河内昇、篠原徳守、林正明、真野宗直、三笥健一、林申次、
高山和茂、岩壁榮、松本楯臣、小山明、滝本誠、新倉昭人、雫石剛、
前田積、青木三郎、小嶋政雄、小野寺昌成、仲村眞、永澤鐵男の各委員
青少年課(岡本課長)、用地管財課(沼井課長)、福祉政策課(吉川課長)
防災対策課(岩井課長)、高齢福祉介護課(田淵課長)
障害福祉課(一杉課長)、
市民自治推進課(富田課長、木村課長補佐、伊藤課長補佐、窪田副主査)
事務局(山田、長野)

4 会議の経過

- (1) 開 会 細田副会長
- (2) あいさつ 後藤会長
- (3) 議 題

- ① 先進都市視察の実施報告について
資料に基づき事務局より報告した。
- ② 研修会について
資料に基づき事務局より説明した。
- ③ 新年賀詞交歓会について
資料に基づき事務局より説明した。
- ④ その他

ア 情報交換について

(ア) 茅ヶ崎市内の犯罪発生状況等について

後藤会長より、茅ヶ崎市内の10月末現在の犯罪発生状況等について、資料に基づき説明があった。

今年最初の頃は振り込み詐欺の件数は少なかったんですが、残念ながら、9月、10月の振り込み詐欺の件数が5件ずつ発生してきております。これでもまだ昨年より少ないんですが、いつも申し上げているように、高齢者が集まる場所では、振り込み詐欺の話をしていただいて、特にテレビなどでよく取り上げてます、NHKなどは必ず6時40分に振り込み詐欺のことをやっています。見ていただいて被害にあわないようにしていただきたいと思います。ひたたくりはおかげさまでゼロになってきております。あとは特に大きなところはありませんが、交通事故については今日も新聞で高齢者の事故が報じられていましたが、注意をしていただきたいと思います。

(イ) 小出地区永澤委員より情報提供があった。

11月10日の日曜日秋晴れのもとで、第23回レインボーフェスティバルが里山公園で開催されました。述べ45,000人でにぎわいました。フェスティバルを盛り上げてくれたサークル、アトラクション、23のサークルがアトラク

ションに参加してくれました。それから77のテントが設営されまして、飲食部門、フリーマーケット、地元の新鮮野菜などが大活躍してくれました。この場を借りまして市民の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。なお来年の1月7日には相州小出七福神巡りを開催します。皆さん参加してもらいたいと思います。

イ その他

(ア) 防災対策課から先月、台風19号に伴う市の対応状況並びに被害状況の資料を添付しております。

(会長) 今回多くの方々が避難されました。トータル8,760名の方々が避難されました。当初小中学校を避難所と指定されましたが、入り切れないということで、西浜高校、鶴嶺高校、アルバック、アルバックテクノ、ハマミーナ、山治ビル、こういうところに急遽開設をしていただいて避難者を受け入れたという状況がございました。実際茅ヶ崎市民はもっとたくさんいるんで、これ以上避難者がいられたらどうするんだとか、今回いろいろな問題がありました。いままで地震等については各自治会等、いろいろ対策をとってきたんですが、水害、洪水等も含めてちょっと対策が遅れてたんじゃないかなと思います。私の地区では防災部会で取りまとめて、行政のほうにこういう問題があるよということを伝えました。まちちから協議会として自治会加入促進をしようということで先日プロジェクトを作って始めたところですが、もうひとつ昨年から防災部会をつくったらどうかということで去年から、お話をしてきました。これを機会に各地区で2名ぐらいずつ集まっていたいただいて、台風19号に伴う問題点を行政と話し合いをする場を設けて、次に備えて問題がでないようにしていきたいと思います。できたらそれを継続して防災部会につなげられたらいいかなと思っておりますので、またご案内をさせていただきたいと思いますし、先ほどの役員会でもご了承いただきましたので、各地区でまとめていただければと思います。

(イ) 市民自治推進課長から資料に基づき説明、依頼があった。

(市民自治推進課長) 防災の話が出たところでございますが、市といたしましても、今週の金曜日、11月15日に、毎年行っている災害対策本部の図上訓練を予定していましたが、この秋の台風の対応を検証する1日とするという予定があります。例えば避難所での状況とか、災害対策本部に設置された避難所対策班の動きだとか、私たち総務部の動きであるとか、そういったものを全部出し合って今後この水害に対してどのように対応していくのかを、まずは、市として検証することになっております。今後藤会長からご提案をいただいたとおり、実際地域においてどのようなことが起こって、どういったことが課題だったのかが、いづれ一緒になれば茅ヶ崎市としての対策ができあがるのではと考えております。防災部会というお話もございましたけれども、今後ともご協力をお願いいたします。

それでは私から4点情報提供をさせていただきます。自治会町内会講座というA4の資料でございます。市民自治推進課は自治会やNPO等支援をしているわけですが、こういった講座、講演会、研修会などのチラシが送られてきます。地域に関わることでございますので、案内が届きましたら、自治会等にどんどん情報を提供させていただきたいと思っております。今回自治会町内会講座で1月20日開催で、都内で行われます。参加費は3000円でございます。私たちが目を

引いたのは講師が名和田先生、コミセン連絡会でもご講演をいただきました法政大学の名和田先生が基調講演をされることと、左下の須賀英雄さん、茨城県常総市で鬼怒川の氾濫が数年前あったと思います。この須賀さんはその後、湘南地区の柳島に防災に関する研修会にご講演をいただいたそうです。そういった偶然的なご縁がございまして、目を引いたところがございます。市のほうでまとめることはしませんけれども、ご興味があれば是非ということでご紹介しました。明日以降各自治会長にご案内をさせていただきます。

2点目は、先月10月17日に黒岩知事との対話の広場というイベントがございまして、皆様にもご案内させていただきました。連絡会からは後藤会長、細田副会長、植松副会長、そして私の4名で行ってまいりました。黒岩知事は元アナウンサーで、2時間という時間を、本当にうまくコーディネートされて、講師から言葉を引き出し、あるいは会場からいろんな意見を引き出し、それをどんどん発展させていくという非常におもしろい時間を過ごすことができました。定員200名のところ190名ぐらいの大勢の方々がいらっしゃいました。会場が藤沢市でございましたので、藤沢の高校からボランティアで来られていろいろな発言をされて、高校生の目線から地域とかコミュニティとか当事者意識とかという単語を普通に使っているのが印象的でした。地域に関する事例といたしましては、二宮町で取り組みをされているところからのご説明がありました。二宮町でも少し山のほうの地域で、単位自治会だけでは到底コミュニティ活動ができないということで、数地区集まって協議会を作ることから始めて、地域資源を使った取り組みを始めて、里山を使ったハイキングとか、音楽祭をやったりとか、地域活動に無関心な方をどうやって引き込むか楽しいことをやろうじゃないか。そんなことをテーマに取り組んでるよという話をうかがいました。

それからやはり県の関係でございしますが、この黒岩知事は今回知事に再選されるにあたり、コミュニティの活性化、再生ということを公約的に掲げて取り組みを進めております。そして明日ですが、県下の自治会あるいは地域活動を支援する課、茅ヶ崎市で言えば市民自治推進課、県内の市町村の担当課が集まって意見交換をする予定です。明日は湘南地区で集まり、担当者同士で事例発表や課題を話し合います。今後発信をしていきます。

最後になります、小規模多機能自治推進ネットワーク会議、茅ヶ崎で言えばまちぢから協議会のような取り組みをしている、あるいはしようとしている自治体が集まる全国組織がございまして。この関東ブロックの会議があり、茅ヶ崎市が幹事として先週水曜日行ってまいりました。関東地区の7自治体と自治体を支援している4団体、コンサル事業者とか公民館関係の団体など意見交換をしてまいりました。さまざまな自治会、あるいは自治会を超えた地域住民組織が新しい形でコミュニティの活性化をしていくという情報交換と担当者同士がお互い知ることによってこれからの取組に寄与できるのではといった趣旨もございまして。またこの会議はコミュニティ政策学会、日本全国のコミュニティをどのように進めていくかということを考えていただく学識の方、この中には名和田先生も会長としていらっしゃいますが、そういった方々の助言をいただきながら、全体でコミュニティの活性化を図るものがございます。こういったことを通じて私たち職員も少しずつ研鑽を重ねていき、

皆様とともに素敵な地域づくりに努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく
お願いいたします。

(4) 行政からの依頼事項等について

① パブリックコメント（3件）の実施について

市民自治推進課長より、資料に基づき説明があった。

② 「第37回青少年育成のつどい、青少年指導員だより」の回覧依頼について

青少年課長より。

主な質疑は次のとおり。

(会長) 青少年会館は1階でやるんですか。広さはどれくらいですか。

(答) 青少年会館は梅田小学校の向かいの施設で全館貸し切りの形で行う予定です。図書
室とトレーニングルームは通常の解放となります。

③ 市役所分庁舎コミュニティホールの利用停止について

用地管財課長より、資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり。

(問) 予算はどれくらいですか。

(答) 金額は仮契約をしているので決まっていますが、これから12月の議会に提出
をするということになっているので控えさせていただきます。

(問) コミュニティホールを敬老会でお借りして行いましたが、来年度9月ぐらいに開催
する予定ですが、個別のお話ですが9月の利用は可能でしょうか。

(答) まだスケジュールが決まっていないのではっきりしたお答えはできませんが当課の
希望としましては夏休みが始まる前にはコミュニティホールの空調の工事を終わらせ
たいと考えております。それは利用者の方に夏期の暑い時期にご利用いただくのに、
その前には終わらせたいと考えているので、工事期間は4、5、6月を考えておりま
して、7月には通常の利用ができるように考えておりますので、よろしくお願いた
します。

(会長) コミュニティホールで市民が使う例えばダンスだとかいろいろありますよね。そ
ういう方が地区のコミセンにシフトする可能性があるんですが、どのくらいの市民や
サークルさんがいるのか、影響があるのかなのか確認したいので、教えていただけ
ますか。

(答) わかりました。調べまして会長にお知らせいたします。

④ 一斉改選に係る民生委員・児童委員並びに主任児童委員の委嘱について

福祉政策課長より資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり。

(会長) この民生委員と主任児童委員につきまして、自治会長と地区の会長が推薦をし
て
るんですが、推薦をしたっきり本人にどうなったかを話ができないんですね。やっ
と今日。本人に聞いたら市のほうから連絡がきましたっていうから、それはないん
じゃないかなと私は毎回思いますので、まあ今回はいいですから、次回はちょっと
そういうことを配慮していただいたほうが、自治会長が推薦しなくなっちゃう
可能性もあるので、よろしくお願いたします。

(答) 実は、そのような皆様の声をいただいた中で、今回ご通知を差し上げ、これ
から民生委員児童委員がどういう行事で民生委員になっていくのかを知っていただ
けるよう

にということで通知を作らせていただきました。今後につきましてもなるべく早く情報をご提供できるようにしていきたいと思います。

(会長) 決まったのはいつ頃ですか。

(答) 正式には決まったというのは文書では来てないんですけど、先週会議等で決まったと確認ができましたので、今回ご通知をさせていただくということです。

(問) 次回は3年後になると思うんですが、いつも自治会長のところに推薦をしてほしいということで自治会長は困ってるんですけど、民生委員自体もいつも大変だ大変だと言ってるのでよけい見つけられないんです。次回から民生委員を更新するときには、次の人を決めてもらいたいんです民生委員の人に。そしてもってきてもらえないと新たに私辞めますからあと見つけてくださいと投げられても、内容も地域のことも民生委員の人はよく知ってますんでね。まえまえから目星をつけてその人を説得しながら民生委員になってもらうように下地づくりをしてもらえないと、いきなり見つけろといわれてもなかなか見つけにくい。おまけに民生委員の人が大変だということを回りにおっしゃってますんでね。受ける人がいない。そういう意味も含めて民生委員の人が2期なら2期やった後、退任する場合は次の候補者を見つけて、2、3年がかりで説得しながらやってもらうようにしてもらえば、我々のところに来たとしても、一緒にお願いに行けるわけですよ。

(答) まちぢから協議会連絡会にお邪魔させていただくのも、今年度3回目になりまして、その都度ご意見をいただき、また地域でもご意見をいただき、同じようなご提案もいただいているところですので、12月1日に改選になったのちに、すぐに次期の選定の仕方等についてもいろいろな方にご意見をいただきながら、新しいやり方を検討してまいりたいと思いますので、その時にはまたご意見をいただけるようよろしくお願ひします。

(会長) 今委員からもお話があったんですけども、各自治会も困ってる状況があるんですが、今包括支援センターが非常に充実をしてくてるんですが、専門の方をもう少し増やして民生委員の代わりになるというのが、一番いいのかなと思ってるんですが、そういう考えはどうか。

(答) 基本的には法律に基づいて全国的に対応しているところではありますが、おっしゃるとおり負担の軽減になるということは関係機関との連携は非常に重要になってくると思いますので、そのへんで民生委員児童委員の負担を軽減もしくは困ってる人が市につなげるような仕組みを考えていきたいと思います。

⑤ 避難行動要支援者名簿の提供時期の変更及び更新データの提供について

⑥ 避難行動要支援制度研修会の開催について

障害福祉課長より、資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり。

(問) 今まで年2回の更新でしたよね。今回令和2年の2月ではなく、8月に情報提供するとなっておりますが、これは年2回の変更を1回にするのではなくて、今回に限って2月提供分を8月に提供するというものでいいんですか。

(答) はい、おっしゃるとおりでございます。一応今の段階では年に2回を想定しておりまして、今回民生委員の改選がございまして事務処理に時間がかかりますので、今回につきましては、8月を準備をさせていただくということです。

- (問) 情報提供いただくデータを紙でいただいておりますが、萩園自治会では組ごとに地番順に並べ替えて情報提供するんですが、手間がかかるのでデータでいただけると助かるんですが、この前も申し上げたんですが検討されましたか。
- (答) 数の多い単位自治会からはご意見をいただいているところですが、電子データでお渡しすると情報漏洩の可能性も高くなってしまうということもございまして、今現在は紙でお渡しして、名簿として保管管理をお願いしているところでございます。単位自治会様にはお手数をおかけいたしますが、紙での管理ということで引き続きよろしくお願いたします。
- (問) この研修会ですが、中段のところにご案内先が書いてありますが、今回台風19号で消防分団の方が消防本部の指示で、避難行動要支援者のチェックをしてるんですね。この研修会の通知は消防分団には出すんですか。
- (答) 今ご指摘の消防分団の方へのこの研修会の通知は出す予定はないのですが、消防団の方たちにもぜひ避難行動要支援者の制度の理解やいろいろな災害対応について情報共有をしたほうが良いというご指摘だと思います。お声かけをすることにつきましては、警防救命課と協議をさせていただきまして、対応させていただきたいと思います。
- (問) 消防分団には要支援者について情報提供しているんじゃないですか。
- (答) 消防分団につきましても、紙ベースの名簿は提供させていただいております。
- (問) 名簿提供してるんですから、研修会にも案内を出すべきだと思うんですけど、いかがですか。
- (答) 消防団の団長の方々については、いらっしゃっていただいている状況もございまして、警防救命課と協議をさせていただいて、研修会の参加についてもぜひ参加していただけるよう調整していきたいと思います。
- (会長) 今の話を聞くと消防団に名簿を出しているといってるんですが、自治会、自主防災会を含めて消防団との連携をとったことはないですけども。
- (問) 自治会、自主防災会以外にどこに名簿を配ってるんですか。
- (答) 自治会長様以外には順不同で消防、警察、自主防災組織、民生委員・児童委員、地域包括支援センターに配布しております。
- (会長) 自治会、自主防災会、民生委員とは連携をとってるんですが、消防団は連携はとらないで、その方たちには消防本部から指示がいくと考えていいですか。
- (答) おっしゃるとおりで、消防団の活動については団の本部のほうから指示がいきますので、その中で活動していく。ただ地域によってはそういう活動しながら、自治会、自主防災組織と連携してやっているところもあります。
- (問) 今回台風19号で私どもの消防分団の団長はたいへんいい意味での配慮があったからよかったんですが、消防本部のほうから指示があつて避難行動要支援者の今消防側に全員団員が詰めてチェックしております。何かあつたら自治会のほうもよろしくお願いたします。そういう配慮だったんですが、私どもはそういうことを、情報共有するのは、防災リーダー、民生委員私から民生委員にも情報提供しました。一応そんなことで、地域はお互いにエールを交換するのが、すごく大事だと思いましたので、研修会のほうに書いてなかったのでご検討をお願いしたわけです。
- 消防団あての研修会の通知については、昨年度出していたということが定例会後報告された。本年度についても通知するとのことである。

⑦ 令和元年度第2回防災リーダー養成研修会の開催について

防災対策課長より、資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり。

(問) 従来通りによるものと公募による参加ということですが、公募した場合の各地区から公募された方が出た場合その自主防災組織との関連性は行政から情報をいただき、その方が自主防災組織に加入するかどうかをおまかせするということですか。

(答) 公募については昨年度から始めさせていただいております。具体的には研修会に出ていただいた方がこういう人ですということ自主防災の会長さんにお知らせさせていただいて、当人に連絡をとっていただいております。自主防災組織にご案内をしていただく流れで考えております。

(会長) 関連で、昨年何人の応募があって、その方が自主防災組織に入ったのか、入っていないのかということ、自主防災会の会長と自治会長と別の組織になっているところ、自治会長が兼務してるところと割合はどれくらいかわかりますか。

(答) まず昨年度ですが、公募で受講いただいた方が5名いらっしゃいます。男性4人と女性1人です。会長さんのほうにご紹介をさせていただきました。自主防災組織に入ることを公募の条件にしておりますので、入っていただいていると思っておりますが、活動に定着しているかどうかまでしっかりと調査を行かなければと思っております。もう一つの質問ですが、おそらく20ぐらいだと思います。

(会長) うちの場合自主防災組織からこういう情報が入ってこないもので、できたらこういう書類を自治会長も知っておいたほうが良いと思うんですが、いかがでしょうか。

(答) 自主防災組織と自治会が別になっている場合には自治会長さんのほうにも、ご案内をさせていただければと思います。

(問) 年齢別の防災リーダーの構成のなかで、70歳以上の方が約1000名ぐらい、1000名を超えるんですか。全体では約2000名です。今どこの組織でも高齢化が進んでますけれどもどう思われるか。現役の防災リーダーの再教育はお考えでしょうか。

(答) リーダーの方々の高齢化については災害時、訓練時もそうですけれども、かなり体力消費みたいなのところもありますので、やはり若い年代のリーダーを増やしていきたいというところはあります。ただリーダーの役割として体力的な作業と、地域の中で防災の備えなどを情報提供したり、啓発をしたりといった役割をお願いしたい、そういったところでは逆に高齢の方々のほうが地域の中で担っていく部分は多いかなと思っております。再教育については今各団体のほうからご要望をいただいてフォローアップの研修を行っているところですが、それだけで足りるのか、それとも全市的な機会を設けるべきか、今回お願いするアンケートの結果も踏まえて考えていきたいと思っております。

(問) 男女の比率などはわかりますか。

(答) だいたい3割弱ぐらいが女性の方です。

(問) 公募が昨年5、6名いるということですが、研修の際には公募の方だけを1テーブルにしてんですか。できたら公募の方はその方が所属する自治会の中で一緒にやることで、自治会の中にいる人とも知り合うと思う。

(答) その後のことを考えると地域のみなさまとコミュニケーションをとっていくのが大事だと思います。昨年度も地域ごとのテーブルに入っていたという状況ですの

で、今年度もそのようにしたいと思います。

(問) 非常に多くの方が研修を受けていますが、放し飼いみたいな感じで、組織化することによっていざ何かの時に活動が活発にできるとは思います。今は研修を受けて自主防災組織のほうへ戻っていますが、何か組織化をすることを考えたほうが良いと思うんですが、いかがでしょうか。

(答) 防災リーダーの地域ごとの組織ってというのはあるのかなと思ってますが、全市的の組織化は課題もあるのかなと思います。

(問) 避難所が開設されて今回市民の方がたくさん避難しましたよね。これまでは学校の避難所は配備職員が中心で防災リーダーはあまり手伝わない状況だったんだけど、今回ちょっとと言いましたら、20人ぐらい参加しました。そうしたら問題がでました。基本的に防災リーダーの人たちには避難所運営委員会が正式に立ち上がるまでは、市の配備職員の指示に従ってくださいと言ってきたんだけど、それは正しいですか。それと今回かなり市民が避難所に行ったわけだけど、実際に逃げた人の数は書いてあるんだけど、そこで防災リーダーがお手伝いした数がかかっているのなら教えていただきたい。それともう一つアルバックさんが大勢受け入れてくれましたよね。ここへ避難した人の話をうかがうと、アルバックに逃げてよかったというんだけど、この理由はわかってられますか。

(答) 避難所運営マニュアルによると避難所運営委員会の中でいろいろなことを決めて運営していくことになっています。委員会の立ち上がる前については配備職員と地域の方々、防災リーダーや会長さんもいらっしゃる的那种でそういう方々と協議をしながら、対策を決めていくことになっていきますが、どうしても配備職員がリードしていくのかなとは思っております。台風19号の時に各避難所でご協力いただいた地域の方々の数は把握していませんが、各避難所に来ていただいているいろいろな活動をしていただいたことは、配備職員から報告を受けています。各地域で取りまとめをしていただければ、そういったご意見もいただきたいと思っておりますので、活動の課題等もいただければと思っております。

アルバックのお話ですが、今イベントの準備でお忙しく来週以降意見交換をしていただくことになっていますが、ひとつ話を聞く中では、フロアーが絨毯張りだったことが避難環境でよかった。それから従業員さん用にカップラーメンの販売機等があったことなどが良かったということは聞いています。

(問) 避難所運営ですが、要するに指揮官は誰なの。それがはっきりしてないと今回みたいにあっちこっちに避難所ができると配備職員は必ずしもベテランばかりじゃないわけ。市役所に入ったばかりで課長が行って来っていうから来たという職員もいるはずなんです。そうすると地域の自主防災会の役員とか防災リーダーにがが言われるともの言えない、だから基本は最終的に取りまとめる指揮官は誰だということを明確にしておかないと協議をしてくださいといたって地域の役員のが言うこと言えるに決まってるんだからだめですよ。

(会長) これについては市のほうも今回の台風の検証をするということになってますんで、きちんと検証していただきたい。あと別の委員の方から話があった70代80代が非常に多くなっている。私はこの研修の最後の修了式でよく言うんですが、年齢が高くなると辞めさせていただきたいという声があるんですね。私は冗談半分に動けなくて

もいよいよ口が達者なうちはやってってくれ、これが一番大事なんです。災害があったときは、火事だよという声をだすとか、あと交通事故なんかはショック死というのが結構あるんですね。声をかけて力づけるというのが必要なんです。それがこういう経験を積んだ方がいると本当に助かるんです。そういうことで定年制を敷けばいいという声もあるんですけど、これからどんどん若い人をいれていけばいい話であって、やめちゃうとボケちゃう人もいるんでなるべく多くの人をリーダーにして経験を積んでもらうのが大事だと思います。私は結構修了式でお話するんです。

(問) 台風19号の時に、テレビを見ましたが、千葉県だったかな。コミュニティセンターを開放してるって出てました。今回小中学校32校を避難場所にしましたよね。提言なんですけど、コミュニティセンターの在り方、こういう風水害の時どうあるべきか考えてほしいなと思います。津波だけじゃなくてこういう場合、実際に避難者が来ましたが、風水害の避難所じゃないと、茅ヶ崎小学校に行ってもらいましたが、他見ると結構、コミュニティセンターを避難所として扱ってる。茅ヶ崎市もできるんじゃないか。問題は責任問題もありますし、どういう時点かということね。こういう被害が毎年あるわけじゃありませんけれど、考えたらどうかと思います。

(会長) コミュニティセンターはほかの地区では公民館と一緒になってるようなところがあって職員がいるんです。茅ヶ崎は完全に職員はいらっしゃらないんで、避難所になってないって聞いてます。

(答) いま会長おっしゃられたように、施設の特性によって違う、例えばコミュニティセンターに限らず公民館とかそういった施設を今後どういった形で、公民館は早期避難所という形で、開設しておりますが、今回は開設はしませんでしたけど、検討していきたいと思います。

(会長) じゃあ検証も含めてよろしくをお願いします。

⑧ 茅ヶ崎市地域防災計画の修正について

防災対策課長より、資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり。

(会長) この前、国のほうで避難情報の考え方が変わって、レベル1とか5まであるんですが、この前はレベル4でしたが、レベル5になったらどういうふうに行政としては考えてたんでしょうか。

(答) レベル5というのは災害が発生したという情報を発令するのが、レベル5になっております。ですので川が大規模氾濫をした場合とかが考えられるんですが、この間の場合で言えば、垂直避難、家の高いところに上がるとか、近くの高い場所に上がるとか、遠くに避難するのは難しいのでそういった行動を促進するような取り組みが考えられたと思います。

⑨ 「まちぢから協議会への効果的な支援のあり方」に関する意見交換実施結果の報告及び今後のスケジュールについて

市民自治推進課長より、資料に基づき説明があった。

(5) 閉会